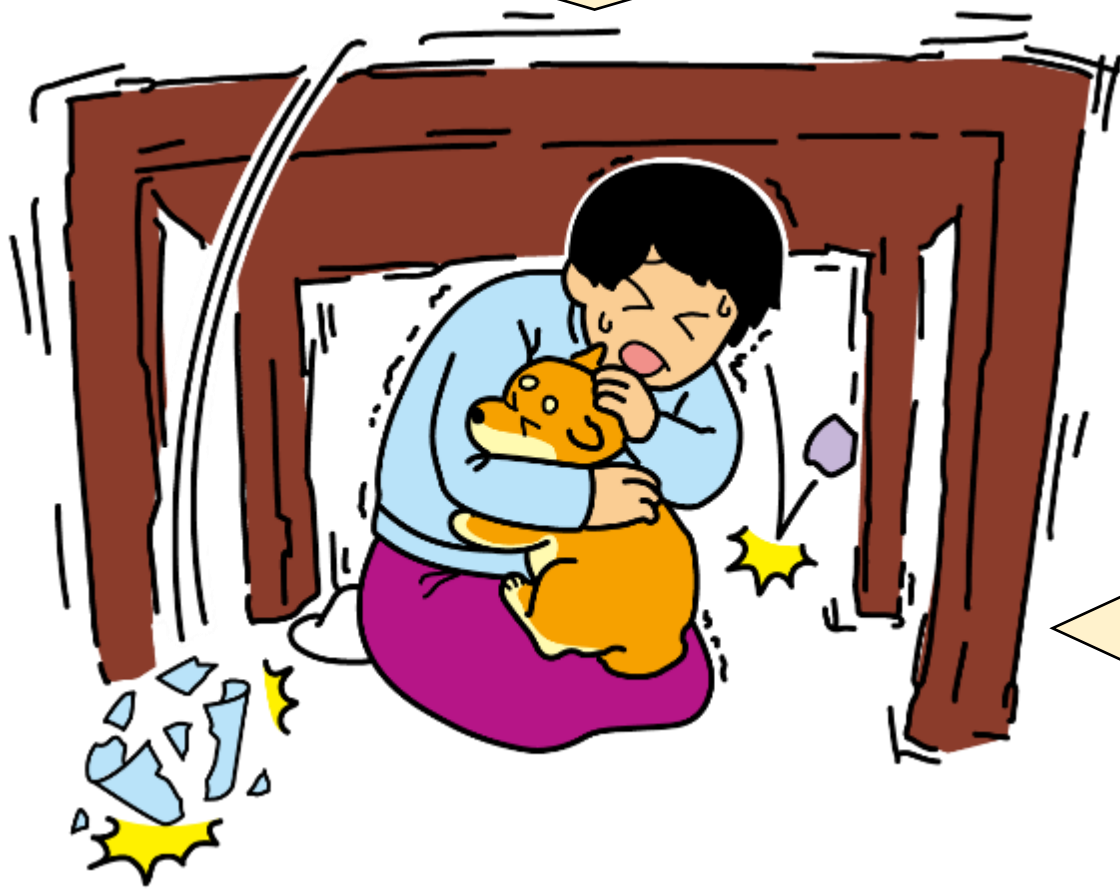


知っておきたい！ あなたとペットの災害対策！！

災害が発生したら・・・

まずは自身の安全を確保しましょう！
飼い主が無事でなければ
ペットの安全を守れません！



ペットの災害対策は
自助が基本です！
自分で対策、
準備しておくことが重要です。



避難が必要か判断をしましょう！

見知らぬ避難所での生活は、
人間以上にペットもストレスを感じます。
自宅で継続して生活できると判断した場合は、
自宅に留まること（在宅避難）も考えましょう。



※住まいの対策※

家具や飼育ケージの固定、ガラスの飛散防止対策等、
住まいを災害に対して強くしておくことが、人とペットの安全にもつながります。

東京都・特別区・市町村

「平常時の備え」が重要

日頃からの心がけ

●健康管理

- ・毎年度の狂犬病予防注射（犬の場合）や必要なワクチンを接種しましょう。
- ・普段から体を清潔に保ち、ノミやダニなどの外部寄生虫の予防、駆除をしておきましょう。

●しつけ

- ・速やかな避難や避難所で生活するためには、基本的なしつけが必要です。

<例>

鑑札・狂犬病予防注射済票

- ☐ ケージに嫌がらずに入る、
ケージの中で落ち着いていられる
- ☐ トイレは決められた場所でする
- ☐ できるだけ他人や他の動物を怖がらない
- ☐ 不必要に吠えない（犬の場合）

避難所、避難経路等の事前確認

- ・避難所までの経路や、ハザードマップなどを確認しておきましょう。
- ・犬、猫、小鳥などの一般的なペット以外の動物は、避難所での受入ができないこともあります。避難所にペットを連れて行く際の注意事項などを事前に自治体へ確認しておきましょう。
- ・ペットと一緒に避難するほかに、一時的に預けるということも考え、遠方の知り合いやペットホテルなど、複数の預け先を探しておくことも重要です。

ペットの防災用品

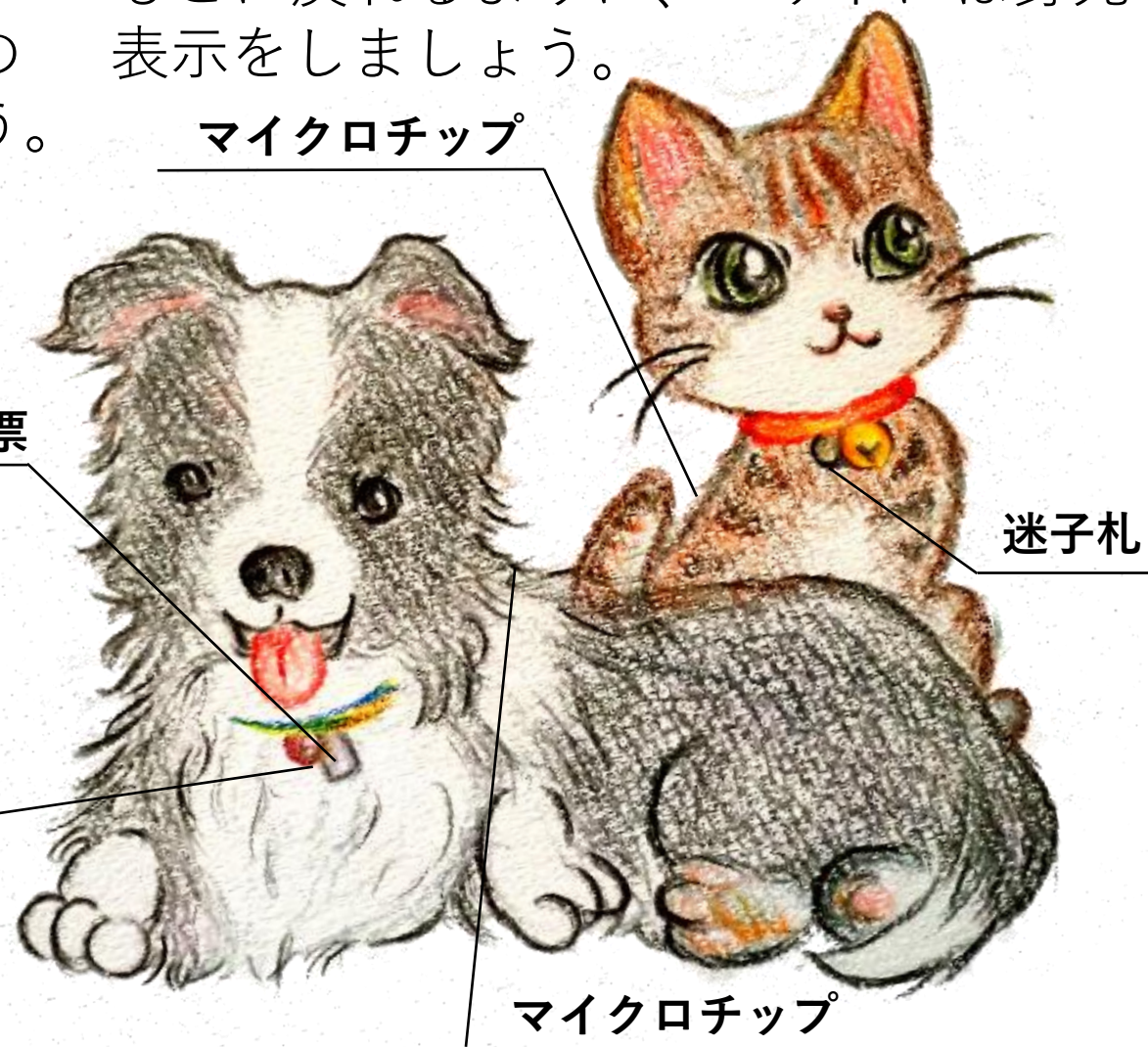
- ・避難所でのペットの管理は、飼い主の責任で行います。避難が必要な場合にすぐに持ち出せるように、人の防災用品と一緒に保管しておきましょう。

ケージは避難所でハウスとしても使用できます！

フード＆水（最低5日分でできれば7日分）/常備薬、療法食/食器/トイレ用品/飼い主情報やペットの健康の記録/ペットの写真/首輪＆リード/ケージ/タオル、玩具、ガムテープなど

●身元表示

- ・はぐれてしまったペットが飼い主のもとに戻るように、ペットには身元表示をしましょう。



犬と猫の防災用品＜例＞



避難をする場合は、ペットと**同行避難**※

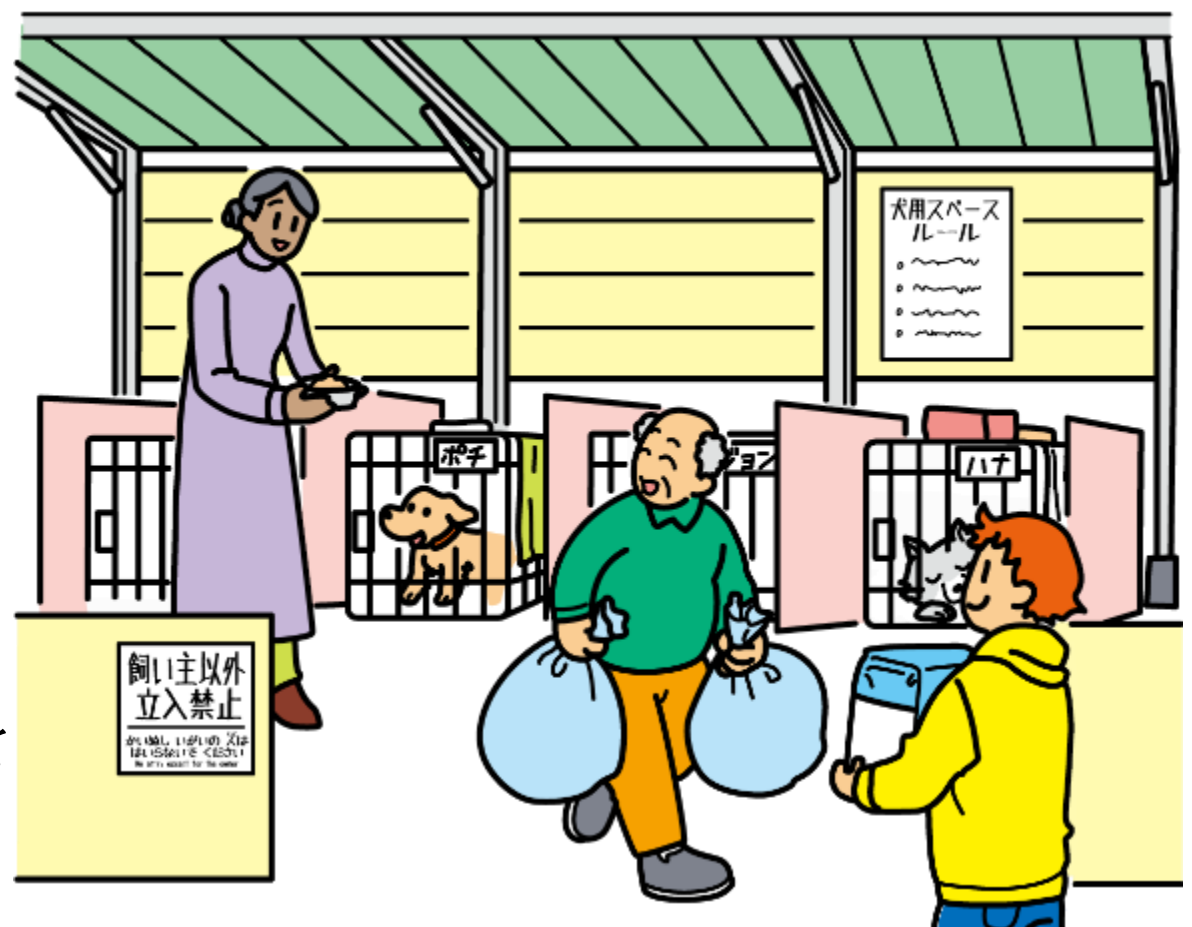
過去の災害では、いったん避難した飼い主が、ペットのために自宅に戻った際に災害に巻き込まれたり、飼い主と離れ離れになったペットが放浪し、住民の安全や公衆衛生上の環境が悪化した事例があります。



- ※ **同行避難**とは、ペットと共に移動を伴う避難行動をすることを指し、避難所等において飼い主がペットと同じ部屋で過ごすことを意味するものではありません。
ペットを受入れている避難所でも、人の居室とは異なる場所で管理する場合がほとんどです。

避難所での過ごし方

- ・避難所では**人が優先**されます。
- ・飼い主がペットの管理を行い、ペットに関するトラブルや事故が起こらないように注意しましょう。
- ・飼い主同士で助け合い、衛生的な管理を行いましょう。
- ・周囲に配慮し、各避難所のルールを守りましょう。





避難所運営者の方へ

避難所には**ペットと一緒に避難**をしてくる住民がいます。動物の好きな人、嫌いな人、アレルギーをもった人等、全ての被災者の方が共に過ごせるよう、備えることが重要です。事前にルールを作成したり、防災訓練等を通して運営シミュレーションを行いましょう。

ペット飼育スペースのポイント

- ・人とペットの動線が交わらない場所、暑さや寒さ・雨風の影響を受けにくい場所が好ましいです。
- ・テントやビニールシート等の身近にあるものを活用しましょう。

※盲導犬、介助犬及び聴導犬は身体障害者補助犬法により公共施設などへの同伴が認められているため、法律に基づいた対応が必要です。



ペットを飼っていない皆様へ

避難所には、ペットと一緒に避難してくる方もいます。ペットの管理は飼い主の責任ですが、トラブルなく避難生活を送るには、ペットを飼っていない方のご理解・ご協力が不可欠です。避難所において、人と動物が安心して過ごせるよう、ご理解・ご協力をお願いします。

発行者：千代田保健所地域保健課

〒102-0073

東京都千代田区九段北1-2-14

TEL 03-6256-8177 FAX 03-5211-8190